

投資対効果を高める 情報化投資マネジメントと投資対効果評価

研修の目的	<p>情報化を進めようとするとき、その情報化によって期待される効果を明確に設定し、その効果が投資に見合うことを確認し、情報化を実行した後、期待した効果が達成されたかを検証することが重要です。</p> <p>本研修は、情報化投資マネジメントのプロセスと、その中での投資対効果の事前評価・事後評価の実施方法、投資対効果を高めるために重要なマネジメント上のポイントについて、事例演習を交えて修得することを目的とします。</p>
研修の特徴	講義とグループ演習(ケーススタディ)を組み合わせた研修で、実践的知識を身につけていただきます。
研修の期間	標準コース 2日間12時間
研修カリキュラム	<ol style="list-style-type: none"> 1.情報化投資と効果 <ul style="list-style-type: none"> (1)情報化投資とは (2)情報化投資による効果とは 2.情報化投資マネジメントサイクル(その1) <ul style="list-style-type: none"> (1)情報化投資マネジメントサイクル (2)投資目的・分野の設定 3.ケーススタディ1:情報化投資目的・投資分野の設定 4.情報化投資マネジメントサイクル(その2) <ul style="list-style-type: none"> (1)投資対効果の事前評価 (2)投資対効果評価の手法(その1) 5.ケーススタディ2:情報化投資の事前評価 6.情報化投資マネジメントサイクル(その3) <ul style="list-style-type: none"> (1)投資対効果の事後評価 (2)投資対効果評価の手法(その2) 7.ケーススタディ3:情報化投資の事後評価 8.情報化投資対効果を向上させるために <ul style="list-style-type: none"> (1)情報化投資の特徴 (2)投資対効果を高めるマネジメント
研修の対象者	ユーザー企業の CIO、システム企画担当、ITC を含めて情報化投資に関心のある方
研修講師	<p>小野修一 IT マネジメント・サポート協同組合理事 (有)ビジネス情報コンサルティング 代表取締役</p> <p>大手 IT ベンダー出身、専門は業務改革・IT 戦略・IT 調達・IT 投資対効果評価・内部統制・情報リスクマネジメントなどのコンサルティング、およびシステム監査・情報セキュリティ監査など 中小企業診断士、公認システム監査人、IT コーディネータ</p>